



建設業の印象払拭「人が集い、関係育む」拠点

三恵

業務用空調機器メンテナンス、工事の(株)三恵(皆川将輝社長)は昨年4月、福岡市博多区板付2丁目に本社を移転。約6億円を投じ、3階建ての新社屋を建設した。

「建設業界のネガティブなイメージ(3K)を払拭したい」、「社員だけでなく、その家族や地域に開かれた場所としたい」という思いを具現化した新社屋は、オフィスや応接室、カフェ、休憩室などを階層で分けるのではなく、らせん状のスロープで地上から屋上までをひとつながりに連続させた構成とした。フリーアドレスを採用し、社員間で偶発的なコミュニケーションが生まれるような設計にこだわっている。「日々の業務の中で声を交わし、部門や立場を越えてつながる」。そのような滑らかな関係性が、空間の中で自然と育まれることを意図している。

社員の健康面や働きやすさを考え、本格機材を備えたジムのほかシャワールーム、仮眠室などを設置。福利厚生として、ジムは家族や友人の利用もできる。

また、最上階には社員がくつろげるプライベートラウンジを設けた。日中はくつろぎのスペース、夜はバーカウンターとして役割を果たし、バーベキュー設備やソファも整備されている。顧客や地域住民を招いたイベント開催も想定し、会社という枠組みを超え、「人が集い、関係が育まれる場」として企業の新しい姿を提示する。

